



## 避難訓練…9・1防災の日に…！

9月に入りました。一時期の暑さも和らいで、秋の気配を感じられる頃となってきました。2学期も一週間が経ち、子どもたちも学校生活のペースを取り戻しているようです。また朝の会では、歌が運動会モードになってきており、毎日、「ゴーゴーゴー！…♪」と元気な声が、2階から降ってきています。

そんな中、9月1日に合わせて、地震想定のお知らせ避難訓練を行いました。いつ来るかわからない災害に備えて、自分で考えて自分の命を守る行動がとれるか、というための訓練です。事前には、もし自分一人の時に、近くに大人もいない時に地震が起きたらどう行動するか、



しっかりと机の脚を掴んでいます！

またどんなことに気をつけたらよいかに等、担任が指導をしてから行いました。

発災時刻を、休み時間で外から教室に戻っているという想定の場合で、地震を模した音を放送で流します。職員は、敢えて指示や声掛けをせずに、子どもたちの動きを見守ります。ほとんどの児童は、まず机の下にもぐったり、机がない廊下などでは、その場でうずくまって頭を守るように手で抱えたりという、第一次避難の姿勢を取ることができました。少しすると、「揺れがおさまりました。落ち着いて校庭に避難しなさい。」という放送が流れて、児童は一番近い経路を自分で判断して、外に出ていました。

一番年長の6年生はさすがで、校庭に出た瞬間から全速力で、校庭中央に走ってきて、避難の仕方をよく理解していて身についていました。私も講評でそのことに触れましたが、やはり、訓練でできないことは実際の場面ではもっとできないと思います。私たち教職員は、児童の動きを見た上で、課題点を見つけたり、自分たちが児童の安全を守るためにしなくてはならないことを洗い出します。そして、それを事後指導として各教室で児童に話します。万が一の場合のことを考えて、子どもたちの命を守るすべを、できる限り想定したいと思います。

ご家庭においても、タイミングをみて、災害時の対応について話し合っただけると、学校での訓練もより生きてくると思いますので、よろしくお願いいたします。

## 珍しい来客！



今年は、昨年度によく来校した「シカ」がほとんど姿を見せません。どうしてなんだろう？と、いぶかしく思いながらも、いらないお土産まで置いていってくれるシカが来ないことに、内心喜んでいきます。すると、先週、2学期初日の始業式の日、子どもたちの登校に刺激されたのか一匹の「子ダヌキ（アナグマ?）」が現れました！私も、着任以来初めての来客でしたので、慌てて外に飛び出て、写真を撮りました。

全然逃げもせず怖がる様子もなく、玄関前から1年生教室前の花壇までトコトコと歩いて行くと、くたっと地面に寝そべり、目をつむって寝始めました。そして突然、またおくっと起き上がり、来た道を散歩して山の中に帰って行きました。職員室から出てきた職員も、「これがほんとの狸寝入りだ！」と驚いて笑っていました。自然豊かな早川ならではのトピックでした。